

お取引先

▶▶ サプライヤーとの共存・共栄

カシオは、国内および海外の多くのお取引先からさまざまな資材を調達しています。長期的かつ発展的な取引を基本に、資材調達方針に基づき、サプライチェーン全体でCSR活動強化、適正な取引のための取り組みの充実を図っています。

カシオが取り組むCSR調達

カシオは公正で公平な取引のもと、法令遵守、人権・労働・安全・健康への配慮、生物多様性の保全や化学物質のリスク管理などによる環境保全、情報セキュリティなどの社会的責任をサプライチェーンを通じて遂行するために「資材調達方

針」を制定しています。お取引先のご理解・ご賛同によるパートナーシップ体制の構築によりCSR調達水準のさらなる向上に取り組んでいます。

■資材調達方針

カシオは、公正で公平な取引のもと、法令・社会規範の遵守、環境保全への配慮等の社会的責任をサプライチェーンを通じて遂行する為、お取引先とのパートナーシップを強化しながら次のとおり取り組みます。

1 公正で公平な取引

カシオは、国内外を問わずお取引先（候補）に対し広く門戸を開き、定められた手順による調達業務と、機会均等に接する公正・公平な取引を行います。

2 法令・社会規範の遵守

カシオは、調達活動に際し、法令・社会規範（児童労働・強制労働・差別の禁止、人権の擁護、結社の自由、団結権及び団体交渉権をはじめとする世界各国の法律・基準・条約、更に反社会的勢力との一切の関係遮断）を遵守します。そのため、カシオは必要な資材を提供していただくお取引先にも法令・社会規範の遵守をお願いします。

3 環境保全への配慮

カシオは、「カシオ環境ビジョン」「カシオ環境宣言」に基づき、お取引先との連携による地球環境に充分配慮した調達を行い、地球環境の保全に貢献していきます。

4 お取引先とのパートナーシップの強化

カシオは、お取引先との、技術開発力の融合と補完、サプライチェーンでの連携、法令・社会規範の遵守と地球環境保全等、多岐に渡る相互理解に基づく信頼関係を強化し、互いの発展を追求します。

5 お取引先の選定と取引継続の方針

カシオは、取引の開始・継続にあたり、法令・社会規範の遵守、環境保全への配慮、適正な情報保護、他者の知的財産の尊重、健全で安定した会社経営、優れた技術開発力、あるべき価格と品質の確保、安定供給の確保、電子商取引への対応等を総合的に判断し、取引の開始・継続を行います。

6 あるべき価格と品質の確保

カシオは、世界中のお客様から厚い信頼が得られる最良の商品を安定供給する為、あるべき価格と品質の確保に努めます。

7 私的な関係の禁止

カシオは、すべての従業員にお取引先と個人的な利害関係を持つ事を禁じております。

お取引先とともに遂行する社会的責任

カシオは、「資材調達方針」をお取引先とともに遂行するために、その指針となる「お取引先さまへのお願い」を制定しています。

日本および海外のお取引先すべてにご賛同をいただき、

社会的責任を果たしていきます。

また、定期的なモニタリングの仕組みを導入しており、サプライチェーンでの取り組みをさらに向上させていきます。

遂行指針の共有

カシオは、生産活動の8割強を中国・アセアン地区に展開していることから、毎年中国華南地区とタイ国において、資材調達方針説明会を開催しています。

当初は、カシオから一方的に方針を説明し、取り組みを要請する場でしたが、2009年度からは、代表取引先にCSRの取り組み事例の発表を行っていただくなど、お取引先参加型の「双方向コミュニケーション」の場への転換を図り、お取引先とカシオと協働で「CSR遂行水準の向上」を目指しています。

ここ最近では、カシオがCSR遂行度立入調査を行ったお取引先からCSR推進改善事例の発表を行っていただき、事例・対応ノウハウの共有化を図りました。



資材調達方針説明会



資材調達方針説明会での表彰式



代表取引先によるCSR推進改善事例発表

遂行管理の徹底

CSR調達の遂行状況について確認するため、2007年度より、日本国内の主要なお取引先に対する企業の社会的責任(CSR)遂行に関するアンケート調査*を開始し、2009年度からは対象を中国とタイのお取引先まで拡大して実施しています。また、日本国内のお取引先には、2009年度より、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「サプライチェーンCSR推進ガイドブック」の全340項目を5点法にて評価し、さらなる状況の把握と可視化を進めています。

2010年度においても、国内・海外のお取引先に対しアンケート調査を継続実施し、その結果とともにカシオが目指すCSR調達のあるべき姿についての考え方もフィードバックし、各社の改善活動を支援しました。

また、中国とタイの主要取引先に対しては、アンケート調査実施後、各海外拠点で立ち上げたCSR推進プロジェクトのローカルスタッフとともに実施監査を行いました(中国3社、タイ2社)。その際、お取引先の経営者とも意見交換を行い、CSR遂行についての理解を深めていただくことで、次年度における改善活動も含めた新たな展開に向けてコミット

していただきました。

国内においては、昨年のアンケート回収率(85%)を大幅に上回る結果(95%)となり、CSRに対する理解と関心が高まっていることを確信しました。さらに、業界内の良きパートナー作りを目指し、CSRの取り組みに熱心なお取引先を訪問し、今後の課題解決に向けた交流会も実施しました。

※アンケートの項目は(社)電子情報技術産業協会(JEITA)版「サプライチェーンCSR推進ガイドブック」に準拠しています。
(1)人権・労働 (2)安全衛生 (3)環境 (4)公正取引・倫理 (5)品質・安全性 (6)情報セキュリティ (7)社会貢献

お取引先の声

ローム株式会社は、ロームグループ行動指針に基づき積極的にCSRの遂行を実践しています。カシオ資材調達方針に賛同し、カシオ様が要望されるCSR遂行項目に対応し、その維持に努めています。



ローム株式会社
国内営業本部第3ユニット
西東京チーム チームリーダー
小泉 比呂充様

CSR展開のステップ

